

北海道建設新聞

2025年
(令和7年)

12月24日
水曜日

発行所

北海道建設新聞社

〒060-0004札幌市中央区
北4条西19丁目1番地11

TEL(011)611-6311

FAX(011)621-2913

<https://e-kensin.net/>

旭川支社(0166)26-2541

苫小牧支社(0144)33-0161

帯広支社(0155)22-0401

函館支社(0138)52-3870

釧路支社(0154)41-3832

空知支社(0126)25-2444

小樽支社(0134)33-0866

小見支社(0157)23-4666

室蘭支局(0143)24-5188

留萌支局(0164)42-2443

稚内支局(0162)73-1830

網走支局(0152)44-2675

©北海道建設新聞社2025

柱・梁のせん断補強筋
(耐震補強材)
スパイラルフープ
株式会社 東和

本社/〒053-1082
苫小牧市川治町六丁目二二番一
電話/〇一四四七七八―三三三三番
FAX/〇一四四七七八―三三三三番

スパイラルフープ(角・丸・八角)
閉鎖型帯筋及スタラップ
割裂補強筋等製造販売



道内で最も歴史ある清酒「北の錦」を手掛ける小林酒造(本社・栗山)には、建築資材販売を担うグループ会社の小林本店(同)がある。同社は相業の酒造りを通して建設業界を盛り上げようと、2014年に業界限定販売の日本酒「セメント正宗」を商品化。数量限定販売すると好評で、再販を繰り返した。待望の声を受け、26年1月10日に再発売する。

酒造会社で建築資材商社を擁す

小林酒造と小林本店、業界盛り上げる

「セメント正宗」には親しみやすい味わいの純米酒を選んだ



るのは歴史背景が関わっている。小林酒造は1869(明治2)年、札幌市中央区で創業。開拓が進む

建設業界限定販売の日本酒

中できらなる成長を目指し、夕張拠点に移した。夕張市内の炭鉱が活況で日本酒需要も高まり、本拠

の現在地へ1900(同33)年に移転は同社が道内を代表する企業

へ成長する鍵となった。

2月から稼働する新たな酒蔵で酒造りの進化を図る



だが、この地域は酒造り時期に当たる冬が極めて寒冷で雪深く、一定温度が必要な発酵過程を考えると決して酒造の適地とは言えない。そこで酒蔵造りにも知恵を絞り、れんがやコンクリートを使った近代的な酒蔵の建設を進めた。当時、大量のセメントを扱ったことから販売代理店を手掛けるようになり、商社部門を分社化したのが小林本店となる。

太平洋セメントとの特約店契約100年を記念し、「業界を盛り上げるために当社しかできないことを」(小林米秋小林酒造企画

小林本店建材部の岡良博次長は「温めても冷やしてもおいしい。鍋物やみんで囲む食事に」と提案。気軽に使えるセメントの位置付けのように「普段の食事で気軽に飲む」と話す。中身は純米酒で、需要があれば継続して販売できるよう、コンセプトに合う既製品から選定している。

来年2月には105年ぶりの新蔵が稼働予定。冷房を備えて夏も酒造りができ、通年稼働が可能となる。建設の技術力で発展する小林酒造と小林本店は、日本酒で建設業界に恩返しする。